

H28.5.31  
第1回総合教育会議  
報告事項資料

# いわきアカデミア推進協議会 の設立について

創生推進課

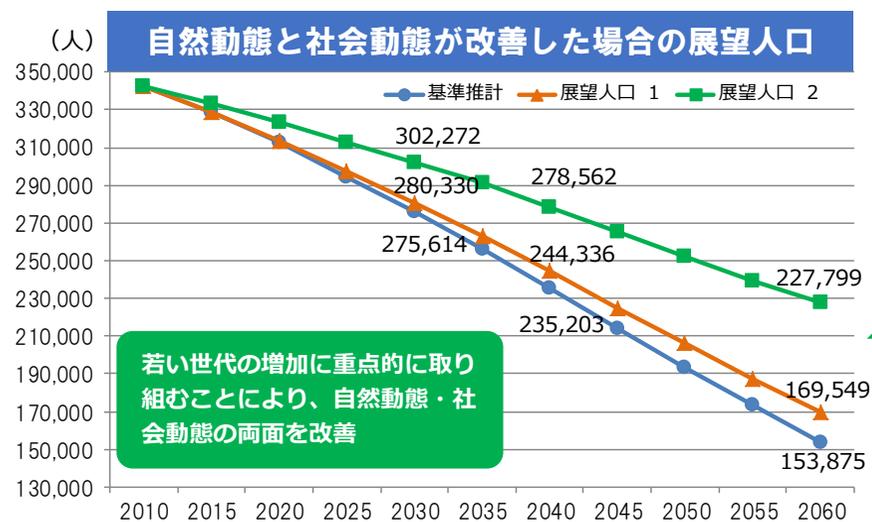
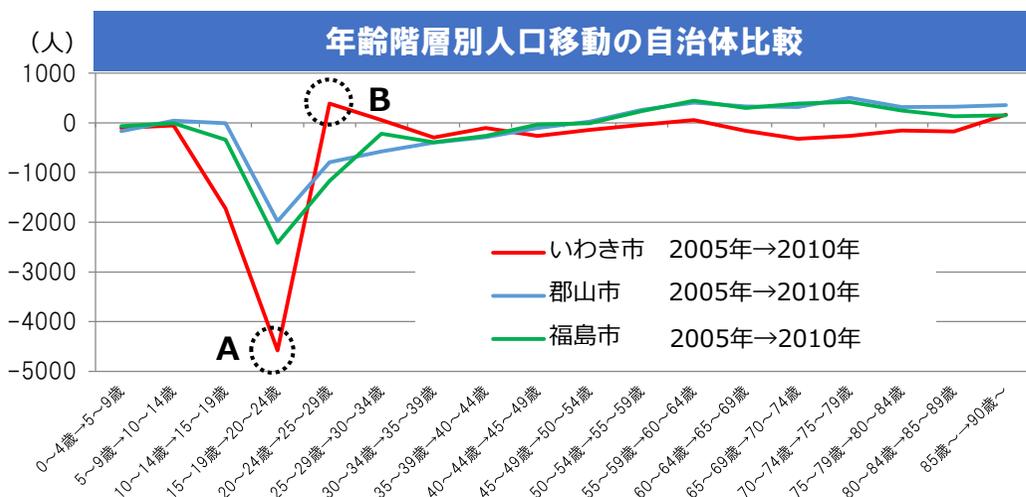
# I 復興の先を見据えた「いわき」のまちづくり

## 1 人口の将来展望と若者世代の流出

将来に向けたまちづくりの基盤となる本市人口を展望するにあたり、社会移動の特徴として、**高校を卒業する世代（A）が市外に流出**する傾向が、他市との比較においても顕著となっています。

（高校を卒業する世代の約6～7割が市外に流出）

一方、**地元でUターン就職する世代（B）**においても、**転入超過がわずかな**状況となっています。



若い世代の増加に重点的に取り組むことにより、自然動態・社会動態の両面を改善

その背景としては、**魅力的なしごとがない（知らない）、まちに魅力がない（知らない）**などの要因が指摘されています。

## 2 次世代を担う人財育成こそが生命線

こうした状況を見据え、将来にわたり本市の活力を持続していくためには、**次世代を担う人財育成**を柱としつつ、**若者の流出抑制**と**UIターンを促進**する必要があり、そのためには、**若者の定着につながる魅力あるしごとや先進的な教育環境、魅力あるまち**をつくっていくことが必要です。

このため、「いわき創生総合戦略」においては、ひと・まち・しごとの魅力を高める17の取組みを位置付けたところであります。



- 地域力アップPJ
- いわきブランディング・プロモーションPJ
- 文化・スポーツのまちづくりPJ
- 廃校リノベーションPJ
- 空き家・空き店舗活用PJ
- デマンド交通PJ

- **グローバル人財育成PJ**
- 若者結婚PJ
- 出産・子育てPJ
- いわき市民総参画PJ
- 医療人財確保PJ

- 廃炉・ロボットイノベーションPJ
- クリーンエネルギー循環PJ
- バッテリー関連産業振興PJ
- 稼げる農林水産業PJ
- 起業家支援地域プラットフォームPJ
- **いわきで働きたくなるPJ**

## II いわき市教育大綱における人財育成の方針

### 教育先進都市“いわき”の実現

- 時代の変化に対応しつつ、未知の領域に挑戦し、**次の世代をリードする人財**
- 命のつながりや他者を思いやる心、困難に立ち向かう勇気など、**豊かな心と生きる力を備えた人財**

### 教育大綱基本理念

「**地域が人を育み、人が地域をつくる**」という認識に基づき、子どもたちの発達段階に応じた一貫した方針の下、学校、家庭、地域など様々な主体が連携しながら、子どもたちの心と体を育むための「**豊かな土壌づくり**」を進める。

### 教育大綱の施策体系

#### I 個性を生かした学校教育の推進

##### ① 新しい時代を切り拓くために必要な力の育成

新しい時代を担う子どもたちには、社会環境の大きな変化を乗り越え、未来を切り拓いていく力が求められます。子どもたちが、郷土に思いを馳せつつ夢や志を抱き、実社会で生きる力を養うため、**基礎学力の向上**をはじめ、**企画力・問題解決力・実践力や自尊感情・自己肯定感等を高める取組み**の充実を図ります。

#### II 生涯を通じた学習活動の推進

#### III 確かな人間力を育む幼児教育の充実

#### IV 生涯にわたるスポーツライフの実現

#### V 地域文化に根ざした市民文化の継承と創造

#### 【H28年度主要な施策】

- ・いわき「若者・しごと」マッチング事業
- ・学習サポート連携事業
- ・コミュニティ・スクール導入事業
- ・生徒会長サミット事業

# Ⅲ 地域一体で次世代につなぐ「知の拠点」づくり

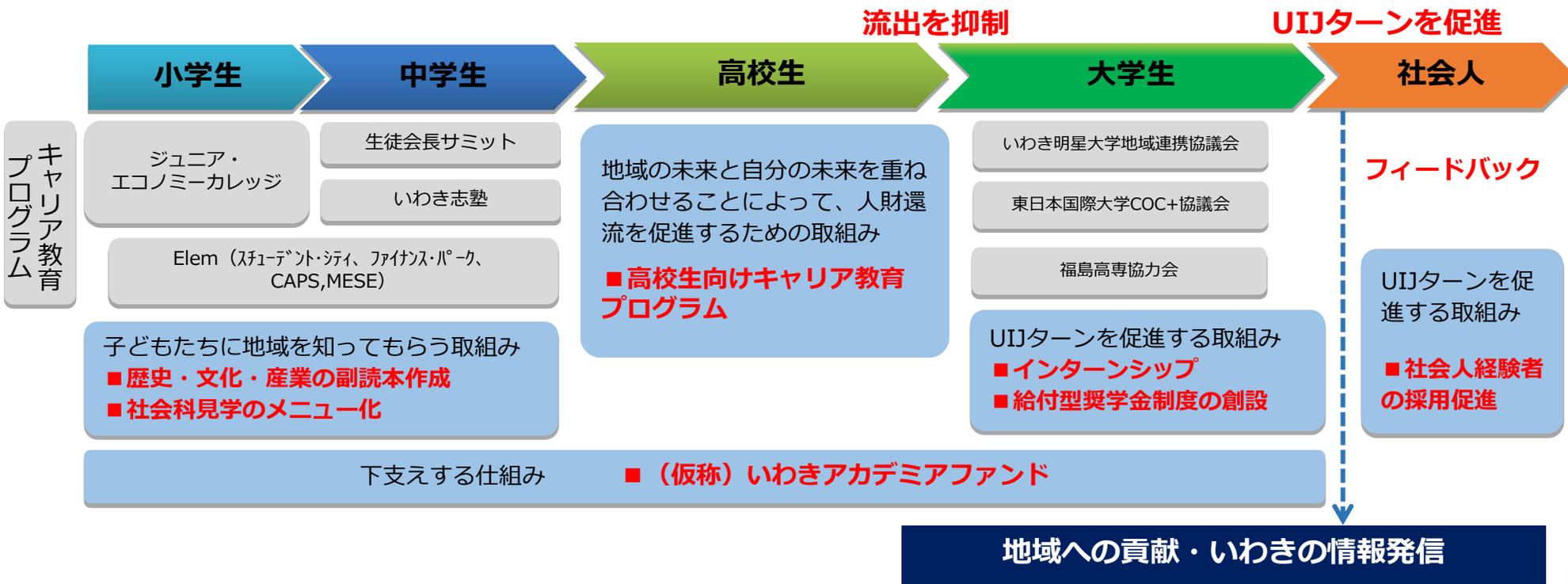
## 1 いわきオンリーワンの一貫した人財育成プログラム

### どんな子どもを育てたいか

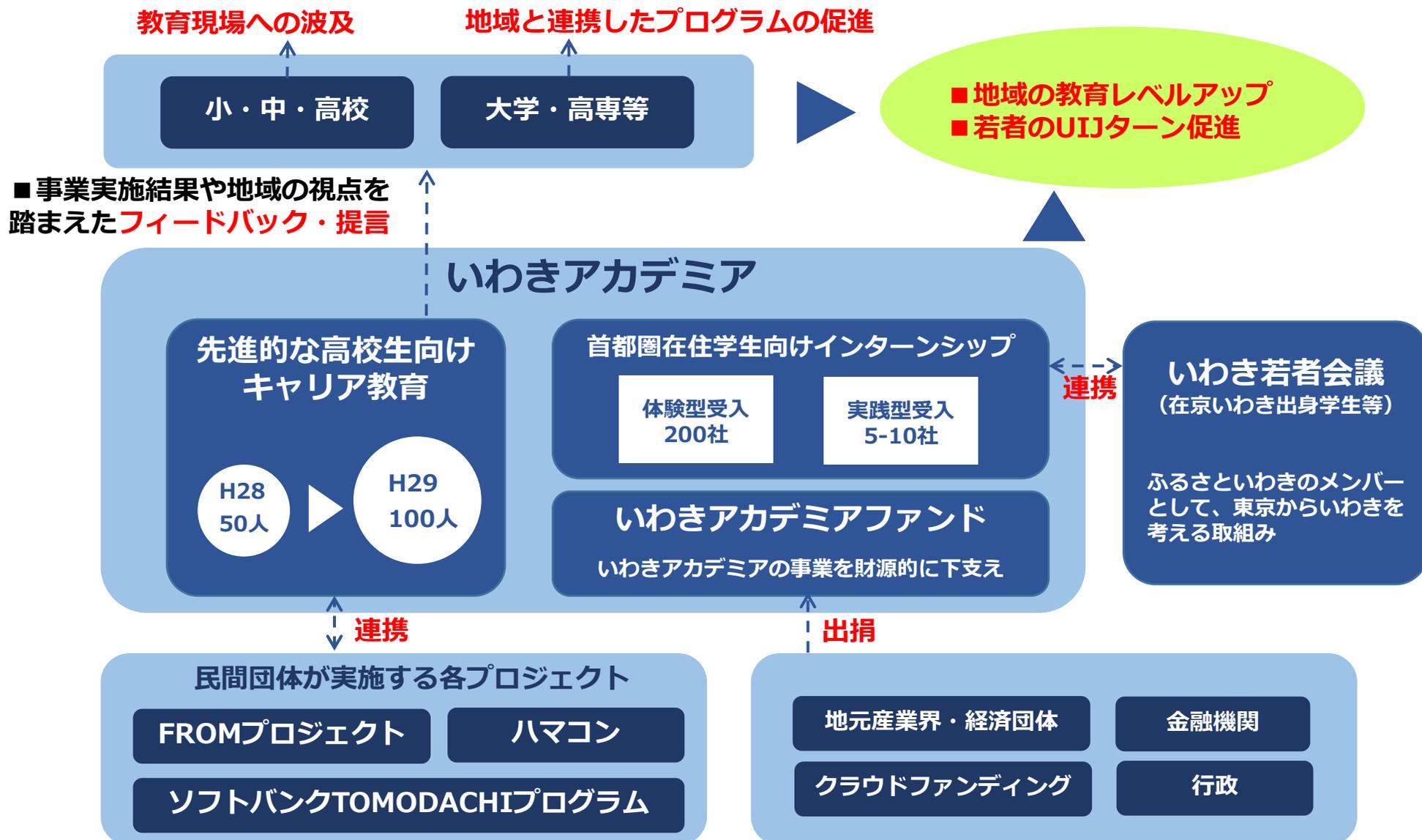
- ふるさといわきに誇りと愛着を持つ子ども
- 企画力や問題解決能力の高い子ども
- 自ら課題を発見し、解決のために行動を起こすことの出来る子ども
- 起業家精神にあふれた子ども
- 未来に夢を持ち、挑戦し続ける子ども

### 課題

- いわきに対する誇りや郷土愛を育むためには、子どもたちに**地域の歴史や文化をもっと知ってもらうことが必要**
- 人生を選択するステージにある**高校生にこそ、地域の課題に向き合い、社会や経済の仕組みを学ぶキャリア教育の取組みが必要**
- 市外に出た**大学生たちに、地元企業のプレゼンスを深く理解してもらうことが必要**

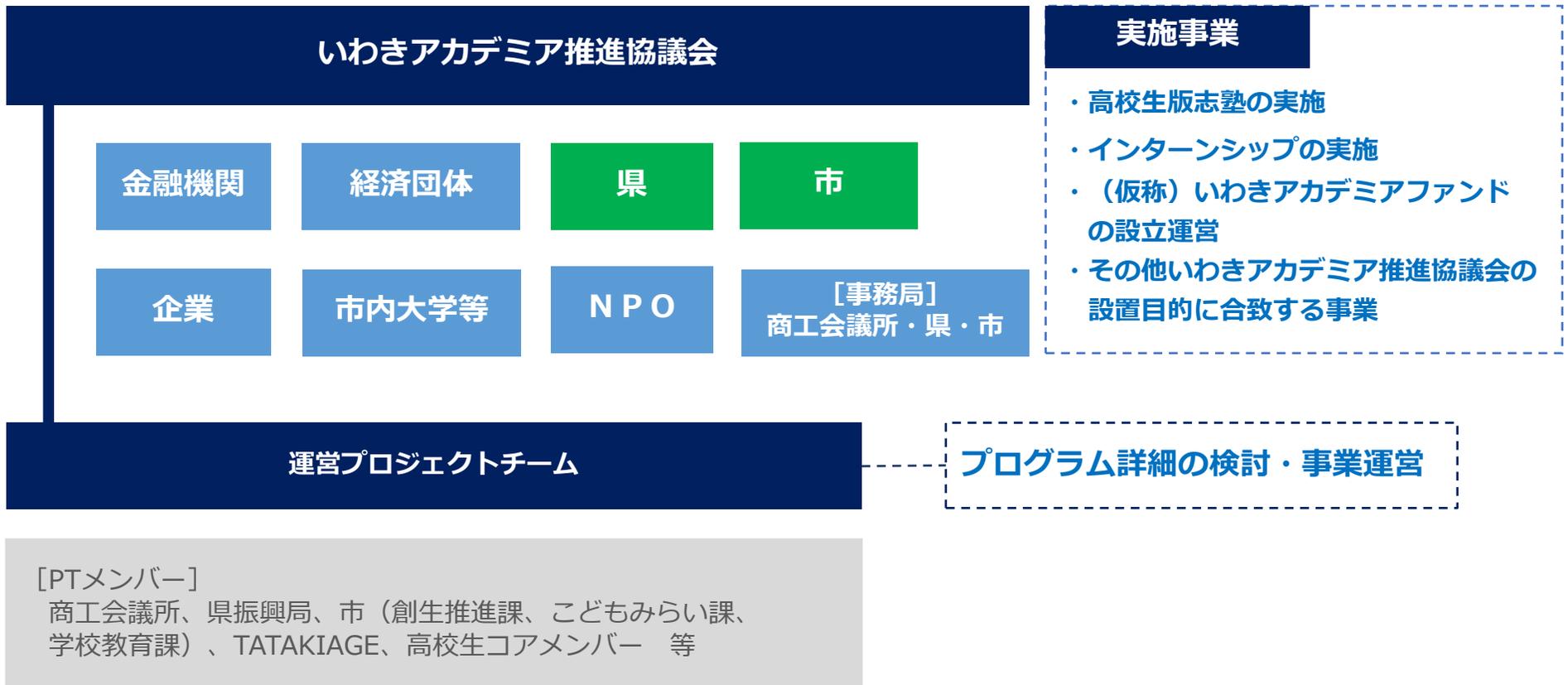


## 2 知の拠点としての「いわきアカデミア」全体構想



## IV 地域が一体となった推進体制の確立

- 次世代を担う人財育成や、若者の人財還流の仕組みづくりに地域全体で取り組むため、産業界やNPOをはじめ市内各界各層の方々からなる「**いわきアカデミア推進協議会**」を設立する。



# いわきアカデミア 事業計画等について

# I 「いわきアカデミア」事業計画（案）

## 1 高校生向けキャリア教育プログラム ～「地域の未来」と「自分の未来」を重ね合わせる

対象者：地域の高校生約50人を対象とする。

### ① 地域課題と向き合うワークショップ

#### 基本ライン

- 高校生が地域課題と向き合い、自分たちの将来を考えられるよう、フィールドワークを交えながら、いわきで活躍されている経営者等を講師に迎えてのワークショップを実施する。
- 各回、振り返りを行うことにより、地域の課題について議論し、理解を深める内容とする。



#### 発展ライン（FROMプロジェクト・ハマコンへの参画）

- 地域課題解決のためのプロジェクトを実践するプログラムである「FROMプロジェクト」と連携し、プロジェクトベースのアクティブラーニングを実施。
- 高校生版 浜魂（ハマコン）にて地域の人たちに向けてプレゼンを実施。（地域課題解決に向けたアクションの提言プレゼン、プロジェクトの成果発表など）



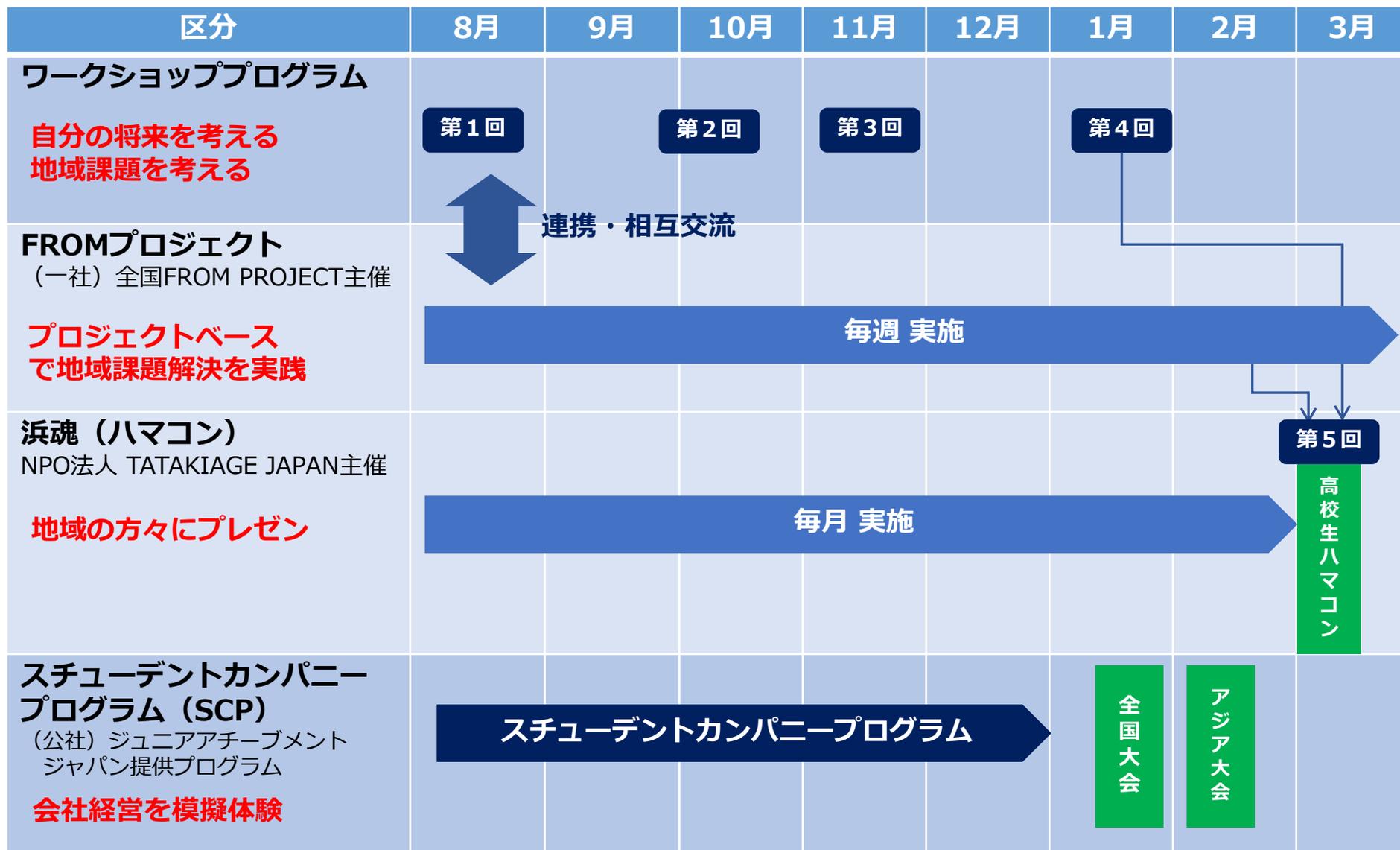
## ■ 考えたい地域課題

- ・ いわきを支える企業を知る
- ・ 企業の課題を知る
- ・ 地域の経営者の熱意を感じ、自分の将来を考える
- ・ 地域の課題について考える
- ・ 企業経営を通じて地域と世界とのつながりを知る

区分	視察場所・内容（案）	地域
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東洋システム(株) <b>ものづくり</b></li> <li>・ 常磐病院 <b>医療</b></li> <li>・ Fromプロジェクト <b>出張授業</b></li> </ul>	常磐
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バックス情報システム(株) <b>ICT</b></li> <li>・ 山菱水産(株) <b>水産業</b></li> </ul>	小名浜
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ソーシャルデザインワークス(株) <b>福祉</b></li> <li>・ (株)アルパイン <b>ものづくり</b></li> </ul>	内郷 好間
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワンダーファーム <b>農業</b></li> <li>・ ファーム白石+萩シェフ <b>農業</b></li> </ul>	四倉 小川
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終発表 高校生版 浜魂（ハマコン）</li> </ul>	

※毎回、視察先にて振り返りのワークショップを実施

## ■各プログラムのスケジュールイメージ



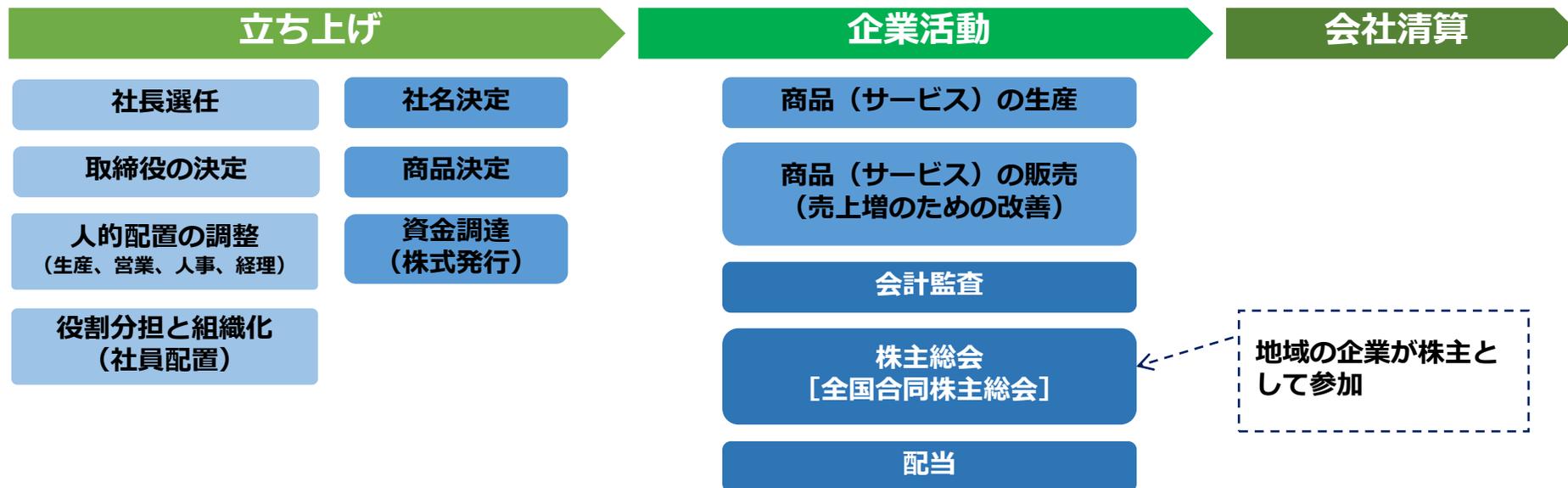
## ② スチューデントカンパニー・プログラム (SCP)

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本が提供する**高校生を対象とした、会社経営の体験型プログラム**で、週1～2回、16週間に及び開催し、**会社の立ち上げから清算まで、経営を模擬体験**するもの。

これにより、自立的な判断力や意思決定力、結果に対する責任意識、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、将来的な地元での起業・創業につなげる。

※SCPは、**これまで、単一の学校を対象として実施**していたが、今回のように市と商工会議所が中心となり、**地域企業を含め協働で実施するスキームは“日本初”**の試みとなる。

### 16週間に及び会社経営



- 活動拠点としてElemを活用
- JCや地域企業の協力により、高校生の見守り役 (メンター) を確保

## 2 インターンシッププログラムの実施 ～「地域で働く」イメージを現実化する

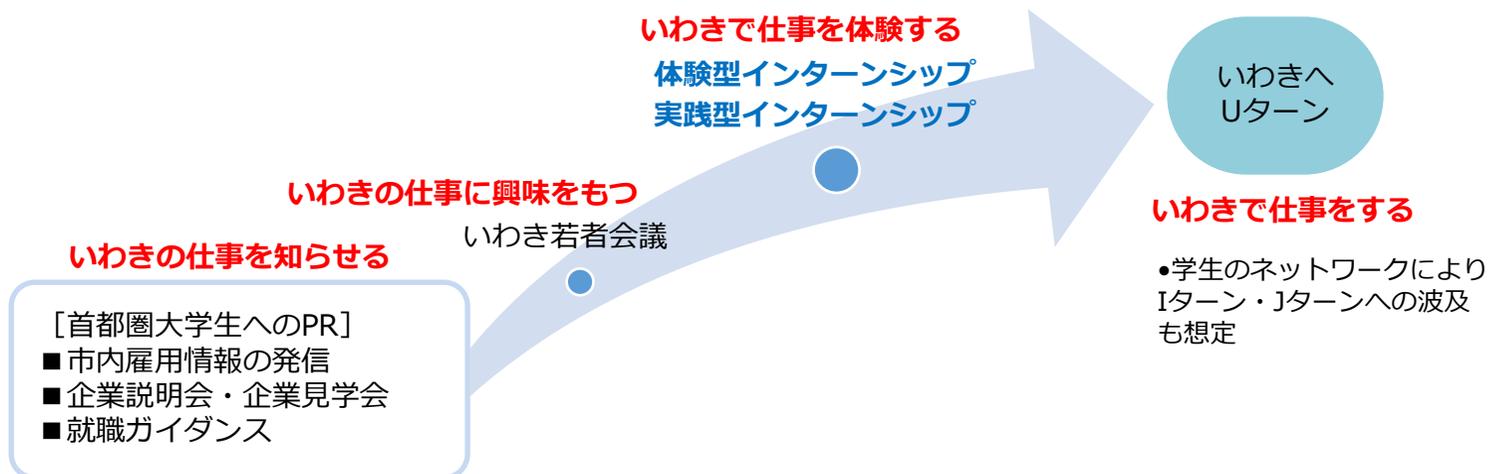
地元企業を知ってもらい、地元での就職を選択するよう、市内企業と連携し、**首都圏在住の大学生等を対象**としたインターンシッププログラムを展開する。

### ① 体験型インターンシッププログラムの実施

- 市が別途実施する「いわき若者会議」等と連携しながら、首都圏大学生を対象とし、市内企業が実施するインターンシッププログラムについて説明会を実施する。
- インターン受入希望のある**市内企業約200社を対象**に、インターンシップ導入のノウハウや、学生への自社PRのコツ等を学ぶセミナーを実施。

### ② 実践型インターンシッププログラムの実施

- 具体的なミッションを与え、**より実際の業務に近い内容を研修する**実践型インターンシッププログラムを実施する。
- 市内企業のうち5～10社程度を選定。専門機関との連携によりプログラムを構築予定。



### ③ 小中学生インターンプログラムの作成

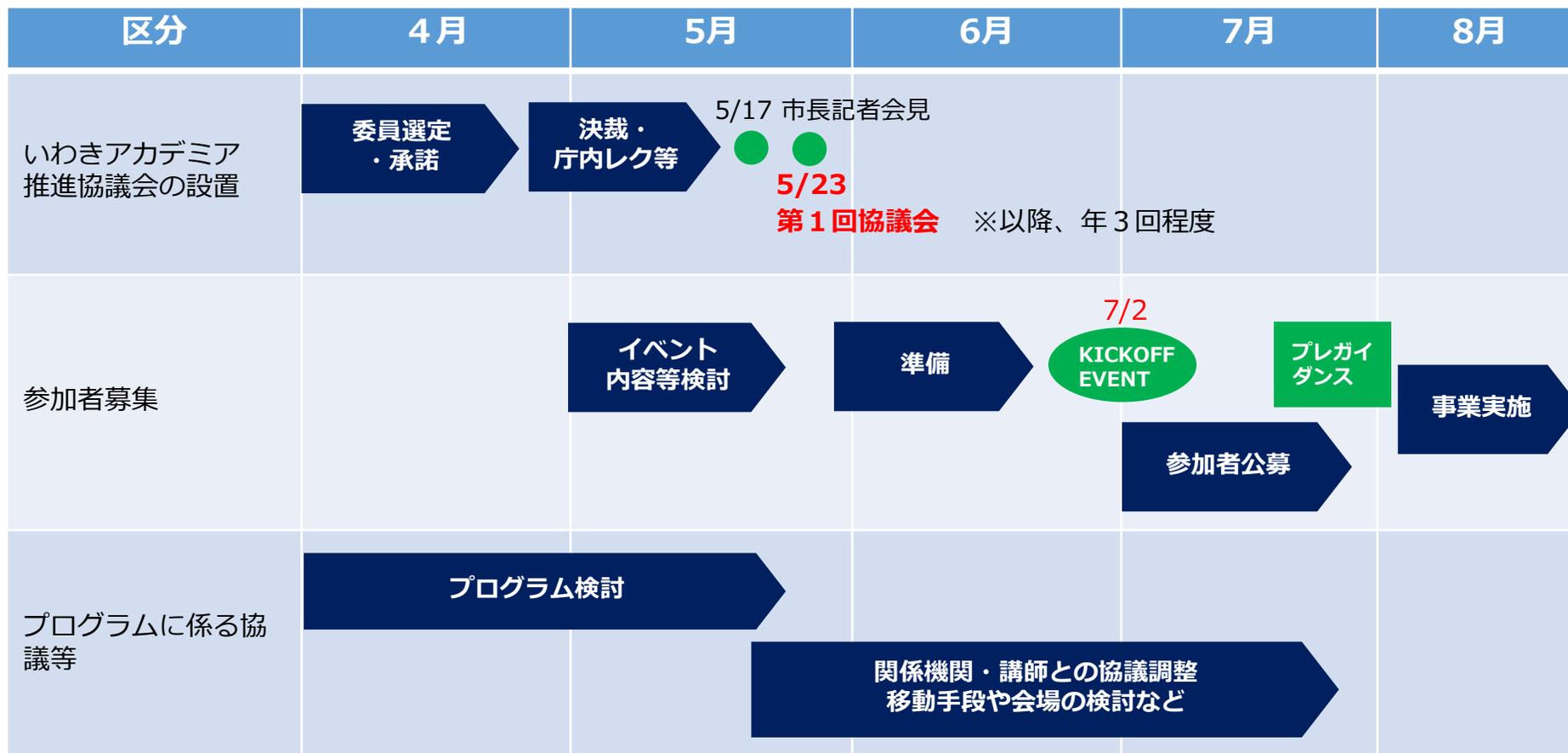
- 子どもたちが地元の産業について理解を深め、将来的に地元に着定するよう、社会科授業等の中で、より多様な企業・事業所を見学・体験できるよう**社会科見学・企業見学のメニュー化**を行う。

## 3 (仮称) いわきアカデミアファンドの創設に向けた検討

- 地域の教育を地域全体で支える仕組みとして、**行政や金融機関、地元・市外企業の出捐**による取崩し型基金の創設について調査検討を行う。
- 将来的には、子どもたちの学力支援やキャリア教育等の事業実施に活用する方向で検討。



## Ⅱ 今後のスケジュール（案）



### Ⅲ キックオフイベントについて（案）

- 1 開催月日 7月2日（土）午後3時
- 2 開催場所 いわきPIT
- 3 参加者想定 100名（高校生 70名 関係者 30名）  
高校生参加者は、高校生コアメンバーの協力のほか、シニア生徒会への案内、ソフトバンクTODACHIプログラム応募者への案内により確保
- 4 次第
  - 14:30-15:00 受付
  - 15:00-15:10 オープニング・アカデミアの主旨説明・いわきアカデミア開校宣言
  - 15:10-16:00 プログラム1 講話（いわきFC 大倉代表）
  - 16:00-17:00 プログラム2 講師からのひと言PR
  - 17:00 閉会